

看板、矢印から見る町

社会学科一回生 金森

1、背景

私の住む所は京都の桂にある住宅地です。小さいころから周りに一般的に京都らしいと言われるところはあまりないものだと思っていました。でも、実は小さいころたまに遊んでいた所のそばのお寺は有名な観光場所だったことがわかって驚いたことがありました。そのお寺は苔寺（西苔寺）と鈴虫寺でした。そして、いつもは散歩などで通るだけでしたが、この春にその近辺を観光してみることにしました。観光してみて、改めていろいろな意味での京都の特徴を近くで見ることができたと思いました。そして、ひとつ不思議に思ったことは、周辺の道のあちこちに間隔をそこまであけることなく観光客の人のためのお寺やお店などの矢印、看板などがたくさんあったことに気づきました。私から見るとそれは横道にそれることなくまっすぐに目的地まで暗示的に先導されているように感じました。

2、目的、調査概要

観光名所のひとつとなっている苔寺、鈴虫寺へ続く道路にあまり距離の間隔をあけることなく、観光客を導くように道の曲がり角などにお寺への矢印や、喫茶店などの看板がたくさんある。たくさん看板があるのは何か意図があるのではないか。看板を調べることでその周辺状況をうかがえる事ができるのではないか。

3、調査対象

苔寺、鈴虫寺へ続く東海自然歩道約 800m までの周辺を散策し見かけたお寺への矢印や、喫茶店

4、調査方法

2004 年 10 月 14 日木曜日～2004 年 10 月 25 日月曜日

観光客対象の矢印、看板などの種類、数を数える。

デジタルカメラに収める。

5、周辺知識

鈴虫寺・・・正式名称は「妙徳山華嚴寺(けごんじ)」。寺内に多くの鈴虫がいて季節に関係なく鳴いていることから鈴虫寺と呼ばれることになる。

苔寺・・・世界文化遺産。正式名称は「西芳寺」。約 120 種類の苔が境内を覆い、緑のじゅうたんをしきつめたような美しさから苔寺と呼ばれる。参拝にあたっては申し込みが必要。

6、調査結果・分析

東海自然歩道



東海道自然歩道とは、東京の「明治の森高尾国定公園」から大阪の「箕面国定公園」を結ぶ、全長 1347km の長距離自然歩道です。右の写真から奥の道は周辺の人たちも散歩コースにしている道なのでわかりますが、右の写真の手前までの道は嵐山から洛西への抜け道となっているので車が絶え間なく走ってきます。道は狭いので危険です。あまり観光客も、見かけません。

東海道自然街道の印の木にお寺やこの先への道を示す矢印がついていました。木は苔寺、鈴虫寺へ続く大抵の曲がり角で見かけられました。この印の木は木や草などに隠れて見落としがちな所もあります。でも道の角になると大体あるのであるのでこの木を目印にして歩いていけば鈴虫寺や苔寺までつくことは可能だと思います。しかしまだ東海道自然歩道には別の種類の看板、目印があります。



あと 100m.の鈴虫寺へと導く看板



この鈴虫寺へ導く二枚の看板は鈴虫寺へ後 200m.ほどの距離の所とそれより近い所に立っていました。看板の種類が違うので立てた時期や人が違うのかもかもしれませんが、あまりにも近いところに立っています。ほとんどの人は迷うことはないと思います。確かに右の看板は道の角にあり、違う方向へ曲がってしまう人もいるかもしれませんが、左の看板のある場所はまだ鈴虫寺の入り口の階段が見えるところにあります。この左の看板は鈴虫寺の道しるべのためにある看板ではなく、他の観光スポットをアピールするためのような意図があるように感じられます。鈴虫寺への距離は書かれていませんが、他の場所へは「松尾大社 1km」のように距離が書いてあります。これは距離を書くことでここからあまり離れていないことがわかるので、他の場所へは行くつもりがなかった人も行ってみようという気になるのではないのでしょうか。しかし、この二枚の看板は、右のほうは違う種類の道しるべに重なって設置しており、左の看板は文字が消えかかっている所があるので、気づきにくく、見えにくい面もあります。たくさん看板があることはありますが、役に立っているかは、このような所に気づくと疑問に感じられます。

喫茶店とお寺の駐車場



「カフェしょうさん荘」は東海自然歩道にある喫茶店です。このお店の看板はこの二枚の看板のほかにもまだありました。右の看板は「浄住寺」のお寺と一緒に看板となっています。

お寺と喫茶店が同じ看板になって立っていたのはこの看板だけでしたが、看板をみてこのお寺と喫茶店との関係はあるのかと思いました。関係がなくてもあっても「カフェしょうさん荘」にはいいイメージがつくのではないのでしょうか。

右の看板でも下に「自然を守ろう」と書いてありました。この看板を見ても「カフェしょうさん荘」のイメージは決して悪いものにはなりません。どちらの看板にも「カフェしょうさん荘」にとってはいいイメージが生まれ、少し行ってみようと思う人がいるかもしれません。土日祝日や観光シーズンしかほとんど観光客が来ない住宅地にあるお店などは付近の人たちがたまに来るだけでは経営は成り立たないのかもしれないかもしれません。なので、このように少しでもいいイメージをもたれて付近のお寺などに訪れてきた人に来てもらえるようにすることが重要なのだということがわかります。

看板だけではない石の道しるべ



この二枚の写真にある石のように、道しるべは看板や木の柱ではありません。なぜ石なのかはわかりませんがそれぞれ形も様々なので、目に止まりやすいのかもしれない。

左の石柱は角にありました。右、左どちらにもあるお寺を別々に指しています。二つの石柱は見たところ同じ時期に作られてはいないようです。

右の写真の石はふつうの住宅の石垣の所に置いてありました。目につくように置かれていないので気づかない人がいると思います。

7、結論

調査結果と分析から、鈴虫寺や苔寺などの東海自然歩道にあるお寺などを示す道しるべはすべてが統一性は持っていませんでした、東海自然歩道に沿って立てられていました。他の道にそれることなくこの道を正しくまっすぐに進むようにという意図があるのではないのでしょうか。他の道にそれると普通の静かな住宅地です。もしこの静かな住宅地に多く

の観光客が迷い込んだり、騒いでいたりすると、日常の生活が十分に送ることはできないのではないはずです。苔寺は拝観者を予約制という形で制限していますが、鈴虫寺は土日祝日や観光シーズンは車が通りにくくなるぐらいの人が行列を作って待っています。他にもお寺があるため、住宅地とは考えられないほどの人が訪れます。このような状態に不満を持った付近の住民の人たちから苦情ができれば、対処しなければならなくなります。実際、苔寺の予約制も付近住民の人たちの苦情が原因の一つでした。それでもまだ人が訪れます。そのためたくさんの道しるべを立てることによって、付近住民の人たちへの配慮を示しているのではないのでしょうか。もしくは、住民の人たち自ら石などを置いて対応しているのではないかと思います。しかしたくさんありすぎて他の看板と重なっていて見えにくいもの、設置場所がわかりづらいもの、文字が消えかかっている見えにくいものの中にはありました。ですが、お寺側の配慮が少しでも感じられれば付近の住民の人たちはいいのではないのでしょうか。

喫茶店などの観光客対象のお店の看板には、近くのお寺と一緒に看板を立てたり、いいイメージを与えるように環境についてのフレーズと一緒に書いてみたり、他にも京都ならではの料理を大きく書いたり、いかに観光客の興味を持たせるように様々な工夫が見られました。しかしよく見ると、経営しているところは同じというお店もありました。

看板、矢印でお寺への道しるべを細かくすることで周辺住民への配慮がうかがうことができたが、観光客にしてみれば観光に来た土地周辺を見て回ったりすることもまた旅行の楽しみの一つではないかとも思ったりもします。観光地での周辺住民との協和と観光客に満足してもらえらることとのふたつの調和の難しさか感じられました。

8、まとめ

今回、調査をするにあたって、写真を撮る時のほかの人たちの視線がとても恥ずかしかったり、戸惑ったり、そのときそのとき考えたことがしばらくたって考えてもまとめることができなくて困ってしまったり、自分の足で調べたことを一つにまとめる難しさを体験することができました。

自分の近くの土地を調べることで客観的に自分の育ってきた場所を見ることができました。いつもならなんとも思わない家並みとすぐそばにある竹やぶをみて落ち着いたたり、行ったことのない道で迷ってしまったり、新しくできた住宅地を発見したり、今までの自分の認識が、また別に新しいものになって面白かったです。

調査を終えて、残念だったことは自分の準備不足でした。どのような内容にするかを詳しく考えていなかったことはもちろん、デジタルカメラなどの機械が十分に使いこなせなかったこと、時間がうまく使えなかったこと、たくさん今後に向けて反省しなければならないことを見つけることができました。

今回、看板に注目して調査したことで、日頃不思議に思っていた看板や広告、建物など

をみても一つ一つ考えてみるが多くなりました。しかし、疑問に思っていたことを考えずにそのまま忘れていくこともまだまだたくさんあります。忘れていることの中に何かとても大切なことがある場合もあると思います。自分にとって大切だと感じられることを見落とすことのない能力を今後見につけていきたいです。

9、参考資料

<http://www.suzutera.or.jp/>

<http://www.pref.kyoto.jp/infro/trad/isan/saihouji.html>